

# 青柳中学校



教科等	公開学級	単元・題材等	授業者	場所	ページ
特別の 教科 道徳	1年5組	B-(9)相互理解、寛容 らしさって何だろう (学研 明日への扉1年)	石高 彩子	1年5組 教室	青柳中 1~
特別の 教科 道徳	2年4組	C-(15)よりよい学校生活、 集団生活の充実 青のオーケストラ (学研 明日への扉2年)	田中 一光	2年4組 教室	青柳中 5~

# 第1学年5組 道徳学習指導案

令和7年11月26日(水) 第5校時  
場所 1年5組教室  
生徒数 37名  
指導者 教諭 石高 彩子

- 1 主題名 “らしさ”は誰のものか 内容項目 B 相互理解、寛容
- 2 ねらい 違いを超えて互いを理解し、尊重しながら共に生きようとする実践意欲を育てる。
- 教材名 「らしさって何だろう」 出典(新・中学生の道徳「明日への扉1」学研)

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容について

内容項目B「相互理解、寛容」は、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」を目指している。

人間関係を築くに当たって、自分の考えや意見を他者に伝えることは、相互理解を深めるために欠かせないことである。それぞれ自分の見方考え方をもっていて、個性があるため、互いが相手の存在を認め、相手の個性や考えを尊重することが大切である。個性は自分一人で伸びるものだけではなく、他者に認められるからこそ伸びるものがある。相手との違いを否定せず、受けとめ合おうとする実践意欲を育てるために、認め合える関係性があることこそが、「自分らしさ」を出せる環境につながっていることを実感させていきたい。

### (2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

小学校中学年においては、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」を、高学年では、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」を目指して学習を積み重ねてきた。そこで、認め合える関係性があることこそが「自分らしさ」を出せる環境につながっていることを実感させるために、特別活動では、ソーシャルスキルトレーニングで、相手の気持ちを考えた言動の練習や、学級通信や学年通信などを通して、行事や授業で見つけた他者の考えやよさを広げる取り組みを行った。その結果、少しずつ相手のよさに気付ける生徒が増え、日記等を通じて伝えてくれる生徒が多くなった。中学生は自分のものの見方や考え方が確立してくる時期であり、同じ趣味や考え方をもつ仲間を大切にする一方で、自分とは異なる考え方の人を受け入れにくくなる傾向も見られる。また、小グループでまとまって過ごすことの多い中学生は、一緒にいて同じだと言っている方が安心する年齢でもある。そのため、身の回りには多様な考え方や生き方をもつ人々がいることに目を向け、否定せずに尊重し合うことが重要であり、互いの違いの中にこそ新しい発見や成長のきっかけがあることを考え、誰にでも他の人との違いはあるが、自分の個性を出すことの難しさを考えさせたい。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本資料は、主人公が友人の女子生徒から「女の子同士で集まる方が楽しい」「おしゃれにも興味を持った方がいいかも」と言われる。友人に髪を整えてもらって帰宅すると、母親に「すごくかわいい」とほめられ、『女らしさ』について悩む姿を描いたものである。思春期の生徒が抱く「自分らしさ」と「周りの期待」との間の葛藤を描いており、等身大の主人公の姿を通して自己理解を深めることができる教材である。また、友人や母親など異なる立場の考え方が示されており、「女らしさ」の固定的な見方を問い直すきっかけにもなる。

本時では、中学校という集団生活の中では、「周りに合わせること」に意識が向きがちだが、自分の個性

を出すことの難しさを考えさせるために、自分らしさを出せるようにするためには周りの理解が必要不可欠であることや、認めること、相手を大切にすることからより良い人間関係を築いていくために、自分の個性を出すことの難しさについて考えを深めていきたい。

#### 4 研究主題との関連

研究主題 <b>「自他ともに認めあえる生徒の育成」～考え議論する道徳を通して～</b>
--

##### (1) 研究主題とのかかわり

本授業の内容項目「相互理解、寛容」は、本校の重点項目である。本授業では、友人や母親の言葉を受けて揺れ動く女の子の心情を通し、「自分らしさ」と「他者の価値観」との関係について多面的に考え、共に生きようとする実践意欲を育てる。クラスメイトとの意見の交流を通して、自分の考えを深め、自己肯定感・自己有用感・他者理解の深化を図り、「自他ともに認めあえる生徒の育成」を目指す。

##### (2) 指導の工夫

本授業では、個人思考、少人数での話し合い、全体発表と段階を踏み、生徒が意見を発表できる場を設け、仲間に意見を受け入れてもらう経験を通して自己肯定感を高めていく。発言は誰の意見か分かるようにネームプレートを用いて板書し、自分の意見で授業が展開されていることを実感することで自己有用感の向上にもつなげたい。また、机の配置をコの字型にすることで互いの顔が見えやすくなり、他者の意見に耳を傾けやすい環境を整える。授業後には、振り返りシートを学級通信・学年通信で紹介することで自分の考えを見つめ直し、他者理解を深める機会とする。

#### 5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	・予想される生徒の発言	○指導上の留意点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連 ●研究主題との関連 ◆評価の視点[評価方法]
導入 5分  つかむ	1 事前アンケートの結果を提示し、本時のねらいを確認する。	・アンケート結果に興味深く見ている。	○ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。 ○ICTを効果的に活用し、生徒の興味関心を高める。 ★第1条「学習課題を明らかにする」
	2 課題を提示する。	<b>「らしさ」を出すことには、どのような難しさがあるのだろう</b>	
展開 35分  考える	3 教材「らしさって何だろう」を読み、考える。  ・主人公、条件状況を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             主人公…ミカ              条件状況…友人や母親から、編み込みをした髪形を「かわいい」と言われ、「女らしさ」について悩む。           </div>	・集中して、物語の内容を理解しようとしている。	○主人公の考えや心の動きに着目させながら、読みを聞かせる。

	<p>(1)友人や母親がミカに言った「かわいい」という言葉は、どんな思いで言ったのだろう。</p> <p>※補助発問 ミカはどんな気持ちだったのだろうか。</p> <p>(2)考え込むミカに、何て声をかけてあげられるだろう。</p> <p>※補助発問 自分だったら何て言われたらホッとできるか。</p> <p>(3)「らしさ」を出すことには、どのような難しさがあるのだろうか。</p> <p>※補助発問 「周りと合わせること」と「自分らしさを大切にすること」は両立できるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子らしくてかわいい。</li> <li>・ミカに似合っていてかわいい。</li> <li>・親切心。</li> <li>・いつもそうしていただらいのに。</li> <li>・女の子はかわいくした方がいい。</li> <li>・自分が好きなもの・好きなことを大事にしてもらいたい。</li> <li>・ミカのことをもっと知りたい。</li> <li>・自分は自分でいい。</li> <li>・周りに馬鹿にされるのではないかと不安に思うから。</li> <li>・自分のことを出して、認めてくれるかが分からない。</li> <li>・何かを言われて傷つきたくないから合わせてしまう。</li> </ul>	<p>★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○その人の内面ではなく、見た目に対しての言葉であることや、「女の子」に対する先入観について考えさせる。</li> <li>●発言者のネームプレートを貼って板書する。</li> <li>○主人公のミカに自我関与して、「自分らしさ」について考えを広げさせる。</li> <li>★第3条「生徒が表現し、交流する場を設ける」</li> <li>○自分らしさが出しづらい生徒の気持ちを考えさせる。</li> <li>○クラスメイトの考えを知り、多面的・多角的に自分の考えを深める。</li> <li>●小グループで話し合い、全体で意見を共有する。</li> <li>◆多面的・多角的に考えているかの視点で具体的に評価する。【話し合い、発言】</li> </ul>
<p>終末 10分</p> <p>ふりかえる</p> <p>まとめる</p>	<p>4 本時の学習を振り返って、考えたこと、感じたことを振り返りシートに記入する。</p> <p>5 教師の話聞く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>私は、相手の考えをすぐに否定しないで、「そうだね」と受け止めるようにしていきたい。そうすることで安心して、自分らしくいられるクラスの雰囲気を作れるようになると思う。</p> </div>	<p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自らを振り返り、自分らしさを大切にできるクラスを作るために、どんなことをしていきたいか、考えさせる。</li> <li>◆自分との関わりで考えを深めているかの視点で具体的に評価する。【振り返りシート】</li> </ul>

## 6 他の教育活動との関連

事前指導	これまでの経験について生徒の実態を把握し、ねらいへの意識づけを図るためにアンケートを実施する。
事後指導	学年通信・学級通信、振り返りシートの掲示を通して、クラスメイトの振り返りを読み、自分の考えを深める。
美術科	自分の感性や表現を大切にしながら、鑑賞の時間を通して、友達作品のよさを認め合う活動を行い、表し方や感じ方の違いを受け入れる態度を養う。
総合的な学習の時間	「自分らしさ」を見つめることを通して、自分の将来の生き方や働き方を考える力を養う。
特別活動	ソーシャルスキルトレーニングを通して、相手の気持ちを考えた言動の練習を行い、自分とは違う考え方があることを知ることで、相手のよさを見つけていこうとする姿勢を育てる。

## 7 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公に自我関与をして考えたことをもとに、話合いや自分の考えを発表する活動を通して、クラスにおいて自分自身ができることを多面的・多角的に考えている。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・他者との違いを認め、共に生きようとする大切さに気づき、これからの自分の在り方、よりよい生き方について考えている。

## 8 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できるクラスの雰囲気を作りたい</li> <li>・相手の考えを否定しないで受け止めたい</li> <li>◎ 友達のらしさを守るためにできること</li> <li>・周りの目が気になる</li> <li>・自分のことを出して認めてくれるか</li> <li>・相手にどう思われるか不安</li> </ul>	<p>★ 「らしさ」を出すことには、どのような難しさがあるのだろうか。</p>	<p>教科書のイラスト③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありのままのミカでいい</li> <li>・自分の思うままに生きていい</li> <li>・好きなものを大事にしてほしい</li> </ul>	<p>教科書のイラスト①</p> <p>教科書のイラスト②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子らしくてかわいい</li> <li>・似合っていてかわいい</li> <li>・いつもと違ってかわいい</li> </ul>	<p>○ 友人や母親がミカに言った「かわいい」という言葉は、どんな思いで言ったのだろうか。</p>	<p>登場人物 ミカ・女らしさに悩んでいる</p> <p>「らしさって何だろう」</p>	<p>(モニター) アンケート 結果等表示</p>
--	---	--	---	---	--	-----------------------------------

## 第2学年4組 道徳学習指導案

令和7年11月26日(水) 第5校時  
場所 2年4組教室  
生徒数 35名  
指導者 教諭 田中 一光

- 1 主題名 誰が集団をつくるのか 内容項目 C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
- 2 ねらい 集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚し、同じ目標を目指して成長し合える集団をつくらうとする実践意欲を高める。

教材名 「青のオーケストラ」 出典(新・中学生の道徳「明日への扉2」 学研)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

内容項目C-(15)は、「教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合っ  
てよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生  
活の充実に努めること」をねらいとしている。

人間は、他の人間と関係をもち集団をつくり上げ、様々な集団や社会の一員として生活をしている。集  
団生活においては、自分の属する集団の意義や目指すものを十分に理解し、自分の役割と責任を果たすこ  
とが重要である。それによって集団生活が充実したものになるだけでなく、自己の資質・能力を高め自分  
自身の向上にもつながる。

これからの人生において、個人の力を合わせ集団として取り組んでこそ達成できることは多くある。ま  
た、集団で何かをなし得たときの喜びは何物にも代えがたい。喜びを分かち合える仲間がいるのはとても  
素晴らしいことである。しかし、集団であるがゆえに、考え方や立場の違いから目標を達成することが難  
しいこともある。だからこそ、自らが所属している集団の目的や意義を改めて理解するとともに、自分の  
役割を自覚し、仲間と協力していくことでよりよい集団をつくらうとする意欲を育むために、集団の中で  
自分の役割と責任を果たすことの大切さについて考えさせたい。

#### (2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

集団の中で自分の役割と責任を果たすことの大切さについて考えさせるために、1年次の道徳「ロコ・  
ソラーレ メダルへの挑戦」では、自ら進んでチームのサポートを引き受けた本橋選手の姿を通して、集  
団の意義について考えた。また、技術科では、班でロボットの制作を行い、仲間と協力することの大切さ  
や集団で目標を達成することの喜びを学んだ。

また、体育祭や合唱コンクール等の行事では、学級委員や実行委員らリーダーを中心に練習を行った。  
練習に際して、チームが上手くまとまらず困難に直面することもあったが、本番では素晴らしい演技、演  
奏を披露することができた。振り返りでは、「クラスみんなで勝つことができ嬉しかった」「心一つに  
することの難しさを感じた」等、集団で何かをなし得ることの喜びや難しさに触れる感想もみられた。

このような積み重ねの結果、多くの生徒が、良い集団をつくるには一人ひとりが自分の役割を果たし、  
仲間と協力し合うことが大切であると概ね理解している。

しかし一方、行事や部活動において、目標に向かって頑張り切れない生徒や自分に与えられた役割を全  
うできていない生徒も少なくなく、行動が伴っているとは言い難い。ゆえに、同じ目標を目指して成長し  
合える集団をつくることの難しさを改めて理解するとともに、集団における考え方や立場の違いを踏まえ  
たうえで、一人ひとりが自分の役割と責任を果たすことが重要であると考えさせたい。

#### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、チームがバラバラのまま目標に向かっていったエピソードから、道徳的ねらいに迫るものであ

る。漫画を教材化したものであり、前半は高校生立花静の状況が分かるエピソード、後半は漫画で心理描写も含めて、中学時代の出来事と現在の立花静の心情が描かれている。三年生が引退し、部長や副部長などの役職について生徒も多くいるため、主人公である立花の気持ちにもとても共感しやすく、思考を深めやすい教材である。

本時では、集団で同じ目標を目指すことの難しさを考えさせるために、まず、部長である立花とそれ以外の部員の思いの違いを考えさせる。そのうえで、集団において自分の役割と責任を果たすことが必要不可欠であることや、より良い集団をつくるうえで大切なことについて考えを深めたい。

#### 4 研究主題との関連

<p>研究主題</p> <p><b>「自他ともに認め合える生徒の育成」～考え議論する道徳を通して～</b></p>
---

##### (1) 研究主題とのかかわり

本校の研究主題にある「自他ともに認め合う」ことは、良い集団をつくるうえで必要不可欠な「与えられた役割に応じて自分の良さを発揮すること」や、「集団に所属する様々な人の考え方を尊重すること」につながっていく。本授業では、研究主題に直接関わる内容項目である「向上心、個性の伸長」「寛容、相互理解」にも関連付けながら、多角的・多面的な思考を促したい。

##### (2) 指導の工夫

本授業では、個人思考、少人数での話し合い活動、全体発表と段階を踏み、生徒が意見を発表できる場面を設け、仲間に意見を受け入れてもらう経験を通して自己肯定感を高めていく。発言は誰の意見か分かるようにネームプレートを用いて板書し、自分の意見で授業が展開されていることを実感することで自己有用感の向上にもつなげたい。また、机の配置をコの字型にすることで互いの顔が見えやすくなり、他者の意見に耳を傾けやすい環境を整える。授業後には、振り返りシートを学級通信等で紹介することで自分の考えを見つめ直し、他者理解を深める機会とする。

#### 5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	・予想される生徒の発言	○指導上の留意点 ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連 ●研究主題との関連 ◆評価の視点[評価方法]
導入 5分	1 事前アンケートの結果を提示し、本時のねらいを確認する。  事前アンケート内容 ①「集団」で目標を目指すことに難しさを感じたことはありますか ②どのようなときに難しさを感じましたか。具体的に教えてください。  2 課題を提示する。	・アンケート結果に興味深く見ている。	○ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。 ○ICTを効果的に活用し、生徒の興味関心を高める。 ★第1条「学習課題を明らかにする」
<b>「集団」で同じ目標に向かうためにどのような考えが大切だろう？</b>			
展開 35分	3 教材「青のオーケストラ」を 読んで、考える。  登場人物 立花静…オーケストラ部の部員。中学時代は管弦楽部の部長。 秋音律子…オーケストラ部の部員。ヴァイオリンを初めて間もない。 あらすじ コンクールまでの練習が上手いかずに苛立つ中、立花は中学校時代に部長として経験した苦い過去を思い出す。	・集中して、物語の内容を理解しようとしている。	○あらすじを紹介してから資料を読むことで、考えを深めやすくする。

	<p>(1)立花や他の部員たちは、それぞれのどのような思いをもって練習に参加していたのだろう。</p> <p>(2)立花や他の部員たちは、それぞれの立場でどのような役割を果たすべきだったのだろう。</p> <p>※補助発問 それぞれ、どんなことを大切にすれば良いチームになれたのだろう。</p> <p>(3)「集団」で同じ目標に向かうためには、どのような考えが大切だろうか？</p>	<p>[立花]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私がみんなを引っ張ろう。</li> <li>・全力で練習しよう。</li> <li>・みんなもっと頑張ろうよ。</li> </ul> <p>[他の部員]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金賞を獲るため頑張ろう。</li> <li>・立花についていけない。</li> <li>・楽しく練習がしたい。</li> </ul> <p>[立花](リーダー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップを発揮。</li> <li>・独りよがりにならない。</li> <li>・周りの声に耳を傾ける。</li> <li>・周りの気持ちを考える。</li> </ul> <p>[他の部員](リーダー以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーとコミュニケーションを取る。</li> <li>・他人任せにせず、自分から積極的に行動する。</li> <li>・リーダーを支える。</li> <li>・リーダーに従う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がチームのために何ができるのかを考えること。</li> <li>・集団における自分の役割と責任を全うすること。</li> <li>・自分も集団をつくる一員であると自覚すること。</li> <li>・立場や考え方の違う仲間に寄り添おうとすること。</li> <li>・自分の良さをチームのために発揮すること。</li> </ul>	<p>★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集団には様々な立場や考えの人がいると捉えさせることで、集団で目標を目指すことの難しさについて考えさせる。</li> <li>●発言者のネームプレートを貼って板書する。</li> </ul> <p>★第3条「生徒が表現し、交流する場を設ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集団の中でそれぞれが自分の役割を果たす大切さを考えさせる。</li> <li>○体育祭や合唱コンクール、部活での経験を生かし、自分事として考えさせる。</li> <li>●小グループで話し合い、全体で意見を共有する。</li> <li>◆多面的・多角的に考えているかの視点で具体的に評価する。【話し合い、発言】</li> </ul> <p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○誰もが集団をつくる一員であることを自覚させ、より良い集団の在り方について考えを深めさせる。</li> </ul>
<p>終末10分</p>	<p>4 本時の学習を振り返って、考えたこと、感じたことを振り返りシートに記入する。</p> <p>5 教師の話聞く。</p>	<p>合唱コンクールや部活の練習を通して、チームでまとまることの難しさを経験してきた。まだ自分の役割を果たすことができていない人が多いからだと思う。</p> <p>これからは、自分の役割を果たし、自分の良さをチームのために生かすことで、目標に向かって頑張れる良いチームを作りたい。</p>	<p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自らを振り返り、よい集団をつくるためにどんなことを大切にしたいか、考えさせる。</li> <li>◆自分との関わりで考えを深めているかの視点で具体的に評価する。【振り返りシート】</li> </ul>

## 6 他の教育活動との関連

事前指導	これまでの経験について生徒の実態を把握し、ねらいへの意識づけを図るためにアンケートを実施する。
事後指導	学級通信および振り返りシートの掲示を通して、クラスメイトの振り返りを読み、自分の考えを深める。
特別の教科 道徳	教材名「ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦」 自分の果たすべき役割を自覚し、互いに協力し合い、励まし合える集団生活の実現に努めようとする態度を養う。
技術・家庭科 (技術分野)	班でロボット制作を行い、仲間と協力して励まし合うことの大切さ、集団で目標を実現することの喜びを味わう。
特別活動	体育祭や合唱コンクールを通して、実行委員ら各種リーダーを中心に集団で目標に向かって努力する姿勢を育てる。

## 7 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・集団における立場や考え方の違いを踏まえ、話し合い活動や自分の考えを発表することを通して、集団においてそれぞれが果たすべき役割について、多面的・多角的に考えている。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・集団の中でそれぞれが自分の良さを発揮しながら役割を果たすことの大切さに気付き、これからの自分の在り方、よりよい生き方について考えている。

## 8 板書計画

**テーマ【集団で同じ目標に向かうために  
どのような考えが大切だろうか?】**

題材 「青のオーケストラ」

①立花や他の部員たちは、  
どんな思いで練習に参加していたか?

教科書のイラスト②

- ・私が皆を引っ張る。
- ・誰よりも全力で。
- ・みんなもずっと本気で頑張ってほしい。

…チームは一つになれなかった。

②それぞれの立場で、  
どのような役割を果たすべきだったか。

**部長(リーダー)**

- ・リーダーシップを発揮。
- ・独りよがりにならない。
- ・周りの思いに寄り添う。
- ・みんなの意見にも耳を傾ける。

**他の部員**

- ・リーダーとコミュニケーションを取る。
- ・他人任せにしない。
- ・リーダーを支える。
- ・モチベーションを維持。

③「集団」で同じ目標に向かうために、  
どのような考えが大切だろうか?

- ・自分に与えられた役割を全うしようとする。
- ・チームや仲間のために自分ができることを考える。
- ・自分も集団をつくる一員であると自覚すること。